

「選ばれるとちぎ」を目指して



リビングとちぎ新春号のインタビューに応える福田知事

初心

2017年新春号

平成29年1月発行
年2回刊
題字／福田富一 書

〈発行所〉
福田富一
暮らしと政治研究所
〒320-0026
宇都宮市馬場通り2丁目1番12号
TEL 028 (633) 1111
http://www.tomikazu.com

2017年「酉年」を迎えて

栃木県知事 福田富一

平成29年の新しい年を、御家族そろって穏やかにお迎えにされましたこと心よりお喜び申し上げます。
「酉」に三水(さんずい)を付ける
と「酒」になりますことから、万物が

実る年などと言われます。
皆様方にとりまして実り多い1年になりますようご祈念申し上げます。
また、栃木県にとってもそうなりますように努めて参ります。

《4期目当選》

昨年の秋には知事として4期の当選を果たすことができました。県内各地で励まされ、元気をもらい、お陰様で信任を得ることができました。改めて御礼申し上げます。

《5年後の国民体育大会に向けて》

国体に向けてスポーツゾーンの整備を進めておりますが、道路や野球場など形となってきたのか?と苦情が知事室にありました。総合運動公園の街路樹や昭和55年の「栃の葉国体」の際に植えられた桜の木が

数多く切り倒されたからです。道路拡幅や新スポーツ施設(武道館、体育館、メインスタジアムなど)の建設に伴うものと、50年を超えた桜の木の空洞化による枝折れ事故防止などによるものです。

昨年11月27日には、周辺自治会や、児童・生徒も含め育成会の皆様と桜の木植樹会を行いました。

桜の木の世代交代に併せ参加した子供達が、桜の木の成長と同じく立派なアスリートとして将来活躍してくれることを期待して行ったものですが、順次緑化工事も行っております。

「私達世代はあと何回桜の花見ができるのか

らないのよ!」と散歩中に言われた言葉が忘れられません。

《オリンピック・パラリンピック》

3年後には東京オリンピックとパラリンピックが開催されます。栃木県は、ハンガリーのホストタウンとして国の登録を受け、事前キャンプの誘致を目指しております。年内なるべく早く方向付けができればと考えております。

《今年の話題》

昨年は、リオオリンピックで本県出身者が5個のメダルを獲得、作新学院高等学校が54年ぶり夏の甲子園大会優勝、名誉県民の船村徹先生が文化勲章受賞、烏山の山あげ・鹿沼今宮神社祭のユネスコ無形文化遺産登録、英国大使館別荘記念公園の開園等が話題となりました。

今年は、新春に佐野日本大学高等学校が全国高校サッカー大会で校史に残る初の第3位となりました。

西年の願ってもないスタートが切れました。

3月31日から4月2日には、2年かけて県内全市町を走破する、全国初の自転車の国際公認レース「ツール・ド・とちぎ」の開催。4月から6月は、19年ぶりのデイスティネーションキャンペーン(国内最大の観光キャンペーン)の1年前祭の開催。8月11日の全国「山の日」記念第2回大会を那須町で開催。

とちぎ技能五輪・アビリンピック2017を11月に開催します。この大会は、青年技能者や障害者の技能向上を図るとともに、ものづくりや障害者への理解を深めるものであり、国内有数の「ものづくり県」として成長してきた栃木県としては、さらなる産業の振興、障害者雇用の促進に極めて重要な大会であり、全国から15万人の来場者を見込んでおります。

その他、東武鉄道では、4月21日から新型特急、8月10日から鬼怒川線にSL「大樹(だいじゅ)」の運行が開始され、7月には東武ワールドスクウェア新駅が開業。8月には中禅寺湖に新型遊覧船が就航致します。また、2020年には、湖畔にザ・リッツ・カールトンホテルも開業予定となっております。JR東日本におきましても、3月4日のダイヤ改正に合せて烏山線の全列車が蓄電池電車「アキウム」に。豪華クルーズトレイン「トランススイート四季島」が5月1日に運行開始となり、3泊4日コース本州唯一の立寄地が日光、そして北海道へ移動します。このように、大きなイベントやニュースが続く1年となります。

結びに、人生「あ・い・う・え・お」を最近目にしました。「あ」遊び、「い」生きがい、「う」運動、「え」笑顔、「お」おしゃれだそうです。本年も宜しく願い致します。

「選ばれるとちぎ」へ

本物の魅力を世界に発信



昨年11月の知事選で4選を果たした福田知事は11月22日、県庁に初登庁し、実質的な4期目の県政運営をスタートさせた。ロビーに集まった職員ら約300人に拍手で迎えられ、笑顔で花束を受け取った初登庁で職員から花束を受け取る福田知事

17年は魅力発信の好機
3期12年の実績と確かな経験を生かし、知事選では、「とみかず元気宣言2016」を掲げ、「選ばれるとちぎ」の実現を目指して、「元気なとちぎ」をキーワードに、「ひとが輝く」「成長力アップ」「健康・安心」「強くしなやか」未来への礎を築く

の5つの柱を立てた福田知事。2017年を県の魅力を県外や海外にアピールできる「願ってもないチャンスに恵まれた年」と位置づけ、観光振興や県のブランド力強化への意欲を示した。

県内では今秋に技能五輪があり、18年はJR各社が「デザイン・ネイションキャンペーン」を予定。20年には東京五輪・パラリンピック、22年には国体の県内開催も控える。県の魅力を内外に発信できる機会が今年以降に相次ぐことから福田知事は、「今年は重要な初年度。国体までの期間で、それ以降も『選ばれるとちぎ』であり続けられるかが決まる」。「全国、世界に栃木の本物の魅力を力強く発信し、観光の振興を図っていききたい」と抱負を述べた。



センター入り口正面に設置される看板の序幕をする福田知事(左)

結婚への出会い 県が創出

とちぎ結婚支援センター開所

結婚支援の相談窓口「とちぎ結婚支援センター」が1月14日、宇都宮市大通りの明治安田生命宇都宮大通りビル6階にオープンした。同センターでは、会員登録のマッチングシステムを活用しパートナーを探す。本人が来所し、プロフィールや理想のパートナー像などを登録。専用端末で異性の情報を閲覧し、1回につき3人までお見合いを申し込むことができる。相談員立ち会いの下でお見合いを

結成支援の相談窓口「とちぎ結婚支援センター」が1月14日、宇都宮市大通りの明治安田生命宇都宮大通りビル6階にオープンした。同センターでは、会員登録のマッチングシステムを活用しパートナーを探す。本人が来所し、プロフィールや理想のパートナー像などを登録。専用端末で異性の情報を閲覧し、1回につき3人までお見合いを申し込むことができる。相談員立ち会いの下でお見合いを

した後、双方から交際の承諾があった場合に個人情報交換できる。入会登録料は2年間有効で1万円。この日までに会員になるための仮登録を約390人が済ませた。平日は午後8時まで運営し、仕事帰りの人が気軽に利用できる。

開所式で福田知事は、「従来の枠組みを超えた本格的な結婚支援事業となる。一人でも多くの若者の結婚が実現されるよう努めていきたい」と述べた。

萩野公介選手に県民栄誉賞授与

海老沼・高藤・真田・檜崎・清水選手 作新硬式野球部に県スポーツ功労賞授与

12月4日、リオデジャネイロ五輪・パラリンピックで入賞以上の県勢選手に祝賀パレードが宇都宮市役所と県庁を結ぶシンボルロードで行われた後、競泳男子で金を含む3つのメダルを獲得した萩野公介選手(写真上左)に福田知事から「県民に希望と活力を与えてくれた」と県民栄誉賞が授与された。同じく競泳女子で



祝賀パレード後、県庁議会棟1階ロビーで県民栄誉賞を授与される萩野選手(左)



祝賀パレード後県庁玄関で授与する清水選手



県庁での優勝報告会で挨拶する小針崇宏監督とベンチ入り選手14人

8位入賞の清水咲子選手(写真上中)に県スポーツ功労賞が授与された。

8月26日には夏の甲子園で54年ぶり2度目の全国制覇を果たした作新学院の選手ら(写真上左)に、9月30日には五輪で銅メダルに輝いた柔道男子海老沼匡選手、高藤直寿選手、車いすテニス男子W4位入賞の真田卓選手(写真下右)に、10月4日にはスポーツクライミング世界選手権で日本選手初優勝を果たしたボルダリング男子の檜崎智亜選手(写真下左)に県スポーツ功労賞が授与された。



福田知事から県スポーツ功労賞を授与された左から真田選手、海老沼選手、福田知事、高藤選手



福田知事から県スポーツ功労賞を授与された檜崎選手(左)

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞、の記事を抜粋させていただきます。

地方創生へ財源拡充を

関東地方知事会

10都県(関東1都6県と山梨、静岡、長野)で構成する関東地方知事会(会長・福田富一知事)は10月19



左から、小池百合子東京都知事、福田富一知事、大澤正明群馬県知事

日、東京都千代田区の都道府県会館で定例会議を開き、地方創生に必要な財源の確保を政府に求める共同提案や2020年の東京五輪・パラリンピック大会に向け地域活性化のため連携していくことなどを確認した。

共同提案では、地方自治体全体の収支見通しである平成28年度の地方財政計画に1兆円が計上された「まち・ひと・しごと創生事業費」や、28年度に創設された地方創生推進交付金の拡充を要請。

会議には小池百合子東京都知事が就任後初めて出席した。福田知事は「東京五輪・パラリンピックの価値あるレガシー(遺産)を創出するため、各都県が連携し、効果的なPRを行っていききたい」とあいさつした。

国保支援減額反対

厚労相等に要請文



緊急要請文を古屋厚生労働副大臣(右)に手渡す福田知事

府県移管に関連し、政府が財政支援減額の方角で調整に入ったことを「遺憾」として、財政支援拡充を実行するよう求める緊急要請文を財務、厚生労働相などに提出した。

政府は、17年度分の財政支援3400億円のうち数百億円を減らす方向。財政支援は移管の前提条件だったため、全国知事会、市町会、町村会の3団体で緊急要請文を出すことにした。要請では「国と地方の合意を反故にするもの」などと反発した。福田知事は「しっかりと対応したい」という返事をもらったので信じた。減額されることがないよう、声を上げていく」と話した。

地方財源確保も要望

全国知事会

福田知事は11月28日の全国知事会議で、政府が国民健康保険(国保)の財政支援を減額する方向で調整に入ったことに対して「断じて受け入れられないものではない」と述べ、反

発の姿勢を強調した。安倍首相は消費税率引き上げの延期などを挙げて減額を示唆した上で「円滑の運営のため、できる限り努力をする」とした。会議終了後、福田知事は取材に対し「国と地方の協議の場で、改めて議論してもらおう」と話した。

国保支援300億円減額

国と地方の協議会

国民健康保険(国保)の運営主体が市町村から都道府県へ移管するに伴う国の財政支援を巡り、国と地方による協議会が12月17日開かれ、塩崎恭久厚生労働相は、「消費税率引き上げの再延期で、子育て分野の財源が不足するため」として、2017年度の基金積み立て予定額1700億円から300億円を減額する方針を示した。

福田知事は「積み増し時期を明示するべきだ」と述べ、19日の協議の場で回答するよう求めた。

作新学院高生と意見交換

「知事と語ろう!とちぎ元気フォーラムin作新」



作新学院高生と意見交換する福田知事

福田知事が県内市町に出向いて県民と対話する「知事と語ろう!とちぎ元気フォーラムin作新」が8月4日、宇都宮市の作新学院高で開かれた。104人が参加し、本県の魅力アップや人口減少の取り組みについて意見を交わした。

福田知事は本県の魅力度向上について「古里を愛する気持ちも重要。県民が好きな栃木県をアピールすれば魅力度は上がる。皆さんも栃木県を好きになって」と協力を呼掛けた。

東奔西走の日々

12月2日、技能五輪へのカウントダウンボードの除幕を行う福田知事(中央)とJR宇都宮駅



「万が一の際は訓練の成果を発揮し、迅速かつ的確な対応をしてほしい」。

◇8月11日 日光だいや川公園で「県『山の日』制定記念フェスティバル」

「祝日に制定されたことを契機に、山を守り育ていく機運が醸成され

◇7月20日 都内で東京栃木県人会/県政の話題を提供。

◇7月21日 名古屋で「とちぎ企業立地・魅力発信セミナーin NAGOYA」/本県の企業立地の優位性を紹介。

◇7月28〜29日 福岡市で全国知事会議/社会保障常任委員長として経過を報告。

◇8月8日 県と壬生町、大雨想定し防災図上訓練。

◇8月11日 日光だいや川公園で「県『山の日』制定記念フェスティバル」

「祝日に制定されたことを契機に、山を守り育ていく機運が醸成され

◇7月20日 都内で東京栃木県人会/県政の話題を提供。

◇7月21日 名古屋で「とちぎ企業立地・魅力発信セミナーin NAGOYA」/本県の企業立地の優位性を紹介。

◇7月28〜29日 福岡市で全国知事会議/社会保障常任委員長として経過を報告。

◇8月8日 県と壬生町、大雨想定し防災図上訓練。

◇8月11日 日光だいや川公園で「県『山の日』制定記念フェスティバル」

「祝日に制定されたことを契機に、山を守り育ていく機運が醸成され

◇7月20日 都内で東京栃木県人会/県政の話題を提供。

◇7月21日 名古屋で「とちぎ企業立地・魅力発信セミナーin NAGOYA」/本県の企業立地の優位性を紹介。

◇7月28〜29日 福岡市で全国知事会議/社会保障常任委員長として経過を報告。

◇8月8日 県と壬生町、大雨想定し防災図上訓練。

◇8月11日 日光だいや川公園で「県『山の日』制定記念フェスティバル」

「祝日に制定されたことを契機に、山を守り育ていく機運が醸成され

◇7月20日 都内で東京栃木県人会/県政の話題を提供。

◇7月21日 名古屋で「とちぎ企業立地・魅力発信セミナーin NAGOYA」/本県の企業立地の優位性を紹介。

◇7月28〜29日 福岡市で全国知事会議/社会保障常任委員長として経過を報告。

◇8月8日 県と壬生町、大雨想定し防災図上訓練。

◇8月11日 日光だいや川公園で「県『山の日』制定記念フェスティバル」

「祝日に制定されたことを契機に、山を守り育ていく機運が醸成され

◇7月20日 都内で東京栃木県人会/県政の話題を提供。

◇7月21日 名古屋で「とちぎ企業立地・魅力発信セミナーin NAGOYA」/本県の企業立地の優位性を紹介。

◇7月28〜29日 福岡市で全国知事会議/社会保障常任委員長として経過を報告。

◇8月8日 県と壬生町、大雨想定し防災図上訓練。

◇8月11日 日光だいや川公園で「県『山の日』制定記念フェスティバル」

「祝日に制定されたことを契機に、山を守り育ていく機運が醸成され

◇7月20日 都内で東京栃木県人会/県政の話題を提供。

◇7月21日 名古屋で「とちぎ企業立地・魅力発信セミナーin NAGOYA」/本県の企業立地の優位性を紹介。

◇7月28〜29日 福岡市で全国知事会議/社会保障常任委員長として経過を報告。

◇8月8日 県と壬生町、大雨想定し防災図上訓練。

◇8月11日 日光だいや川公園で「県『山の日』制定記念フェスティバル」

「祝日に制定されたことを契機に、山を守り育ていく機運が醸成され

◇7月20日 都内で東京栃木県人会/県政の話題を提供。

◇7月21日 名古屋で「とちぎ企業立地・魅力発信セミナーin NAGOYA」/本県の企業立地の優位性を紹介。

◇7月28〜29日 福岡市で全国知事会議/社会保障常任委員長として経過を報告。

◇8月8日 県と壬生町、大雨想定し防災図上訓練。

「時代は変わらざるを得ない」として、時代の流れに合わせて自らの「心の価値観を変える」ということの重要性など



今年初めて特製の釜で焼かれた焼き芋も振る舞われた。冬空の下、家族連れなど1000名を超える皆様がお出で下さり、公務終了後駆けつけた知事も加わってひと時の楽しい時間を過ごした。

2017年 半年間の行事予定

ゆりの会新年会

(女性のみ)

日時：2月26日(日)
AM 11:00～

場所：ホテル東日本宇都宮
会費：5,000円

ハイキング

日時：5月下旬～6月上旬
場所：未定
主催：ハイキング愛好会

※会員の皆様には、日時・場所等決まり次第ご連絡致します。

◇福田富一暮らしと政治研究所
電話 028(6333)1111
FAX 028(6333)1110
宇都宮市馬場通り2-1-12

◇福田富一後援会総連合会事務所
電話 028(6333)1111
FAX 028(6333)1110
宇都宮市馬場通り2-1-12

◇福田富一暮らしと政治研究所
電話 028(6333)1111
FAX 028(6333)1110
宇都宮市馬場通り2-1-12

編集後記

コケコッコーと夜が明けて年が明けたらもう2月。時間が飛んでいきます。

『初心』はこれからも知事の県政への取り組みや日々の出来事などを纏めてお届け致します。どうぞご一読下さい。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

文化講演会

山本コウタローさんを迎えて

9月12日、フォークシンガーの山本コウタローさんを講師にお迎えし、『女(ひと)と男(ひと)のより良い関係』女性活躍する社会についてと題して講演して頂いた。

さらに、70年代から80年代の様々なエピソードを交えながら、ご自身のヒット曲をギターとの演奏と共に披露して下さいました。山本コウタローさん。その穏やかでユーモア溢れる人柄に、会場の皆様も自然と笑顔になるような講演会となった。

もお話された。

もちつき大会

1000名の参加者を迎えて

12月4日(日)、恒例の『もちつき大会』が今宮公園で開催され、つきたての餅、けんちん汁、しぼりたて牛乳、綿あめその他、昨年に引き続きおからドーナツやコロケ、今年初めて特製の釜で焼かれた焼き芋も振る舞われた。



切に過ぎていく」と話した。ところで、二男の結婚が決まった。素敵なお嬢さんと、自然と家族に溶け込んで娘がまた1人増えたような感じである。唯々幸せを願っている。そんな2人と一緒に10月10日、男体山に登った。『何歳まで登れるか挑戦しよう』と始めた男体山登山も16回目。

そう言われたらやるしかない。男体山登山とロードバイク、新たな目標ができた。今年の元旦も夫と共に皇居・正殿松の間での「新年祝賀の儀」に参列した。今年は特に再選後ということで感慨も深く、二男の慶事も相まって、気持ち新たに新年の幕開けとなった。



4選を目指し支持を訴える福田知事

福田知事 圧勝でも表情引き締め

「速やかに地方創生に取り組む」

11月20日、知事選投票締め切り直後の午後8時、「当選確実」の一報に、宇都宮市馬場通りの選挙事務所はひととき大きな拍手が湧き起こった。集まった多くの支持者に深々と頭を下げる福田富一知事。万歳三唱の後、遊説隊の皆さんから次々と花束を渡される。満面の笑みを浮かべた。

一方、17日間の選挙戦を通して実感した各地域のさまざまな課題や低迷する投票率を振り返り、表情を引き締めながら、「責任の重さを改めて実感している。人口減少対策をはじめとする地方創生を、県と25市町が勝者として残るために速やかに取り組んでいきたい」と4期目へ力強く決意を語った。

福田家の茶の間
昨年の知事選挙では大変お世話になりました。政治生活34年目を迎える11回目の選挙でした。夫は「どんな選挙でも全力で」と県内各地区を回って支持を訴えた。私は宇都宮を中心にこれまでご支援頂いた皆様へ感謝の思いを込めてご挨拶に歩いた。どちらに伺っても温かく迎えて下さり、改めて感謝しました。全て伺えなかったことが心残りであった。選挙後夫と「1日1日を大切に過ごしていこう」と話した。ところで、二男の結婚が決まった。素敵なお嬢さんと、自然と家族に溶け込んで娘がまた1人増えたような感じである。唯々幸せを願っている。そんな2人と一緒に10月10日、男体山に登った。『何歳まで登れるか挑戦しよう』と始めた男体山登山も16回目。

息も絶え絶えにたどり着いた山頂は霧に覆われ視界ゼロ。震える寒さだったが、一瞬の霧の晴れ間に写真を撮った。「登れなくなったら引退ね」と言うのと「まだまだ」と余裕の夫であった。そんな夫が暮れも押し詰まった31日、ロードバイクを整備して乗り出した。「急にどうしたの？」と聞くと、新聞の取材で「今年の目標は？」と聞かれ、「ロードバイクで20、30キロ走れるようになること」「もちろん妻と一緒にね」と答えたと言う。

